



本分營罪犯處置條例



114
A 4359



本分營罪犯處置條例

兵隊ノ級次兵卒ハ伍長ニ服從シ伍長
 ハ軍曹ニ服從シ軍曹ハ權曹長ニ服從シ
 權曹長ハ曹長ニ服從シ曹長ハ少尉ニ少
 尉ハ中尉ニ中尉ハ大尉ニ服從シ大尉ハ
 少佐ニ少佐ハ中佐ニ中佐ハ大佐ニ服從
 スルヲ法トシ其上將ヲ亦此ノ如シ
 凡ソ隊中罪犯有テ發覺シ若クハ未夕發覺

大正十一年四月
侯爵郵寄贈

糸問

セザルモ疑ノ容ルベキ者アレハ上ニ示
ス級次ニ從ヒ上級ノ官ヨリ速カニサヒカ停住
ヲ命スルヲ法トス

其罪犯他隊ニ屬スル者ハ之ヲ發スルノ官
罪犯所屬ノ司令長官ニ申告シテ速カニ
停住ヲ行ハシムルヲ法トス

允ソ同隊ニ在リ既ニ停住ヲ命ニタル上ハ
之ヲ發スルノ官直チニ司令長官ニ申告ス

ベレ

其長官申告ヲ受ケタル者ハ訴官ニ就テ其
罪状ヲ辨審シ其犯罪營内諸規ニ係ハリ
懲罰ニ屬スベキト軍律ニ係ハリ軍法會
議ニ屬スベキトヲ分辨シ各其處置ニ從
フベレ

允ソ懲罰ハ一隊ノ司令長官ニ委任セラレ
タル所ナルヲ以テ犯罪懲罰ニ係ハル者

ハ其成典ヲ守リテ罰ニ處スルハ一ニ司
 令長官ノ權内ニ在テ他ニ論及スルヲ十
 シ

其罪犯軍律ヲ犯シタルニ係ハリ軍法會議
 ニ屬スベキ者ハ其副官ト議ニ管内常任
 ノ軍法會議ニ附ス

當今四管ノ鎮臺ニ於テ常任ノ軍法
 會議十キヲ以テ罪犯アル毎ニ特ニ

之ヲ設クベシ

允ソ會議ヲ設クルノ法犯人ノ階級ニ準シ

議官ノ差等アリ其別左ノ如シ

罪犯階級	議長階級	議員階級
下士伍長 兵卒	大佐或中佐	少佐一人大尉二人中尉一人少尉八曹長八
少尉	大佐或中佐	少佐一人大尉二人中尉一人少尉二人
中尉	大佐或中佐	少佐一人大尉三人中尉二人
大尉	大佐	中佐一人少佐三人大尉二人

一ノ月

少佐	少將	大佐二人	中佐二人	少佐二人
中佐	少將	大佐四人	中佐二人	
大佐	中將	少將四人	中佐二人	
少將	大將	中將四人	少將二人	
中將	大將	大將二人	中將四人	
大將	大將	大將 <small>海陸</small> 三人	中將三人	

右少將以下ハ鎮臺ノ帥即チ中將ヨリ之ヲ命ス中將以上ハ兵部卿之ヲ命

ス

各鎮臺管内兵數多キ時ハ預メ管内ノ將校ヲ指定シ命シテ會議官トシ六箇月毎ニ再ヒ他ノ將校ニ命シテ交換セシム

當今分營一大隊ヲ置ク者ハ大尉二人中少尉一人曹長一人糾問司令史一人合議ニ下士卒夫放逐以下ノ罪

犯ヲ鞠問メ刑ニ處スルヲ許ス

其下士卒夫徒以上ニ當ル者ハ獄ニ

錮シ時ヲ以テ鎮臺本營ニ送附シ覆

鞠シテ刑ニ處スルヲ許ス

其四管ノ鎮臺ニ在テ下士卒夫死刑

ニ當ル者ハ狀ヲ具シ兵部省ニ移シ

糾問司正奏請シ上裁ヲ取り本臺

ニ行移シテ當サニ刑ニ行フヲ許ス

當今東京鎮臺并ニ親衛兵八直ニ兵

部省ニ隸スルヲ以テ錮二十八日以

上ノ罪犯アル毎ニ糾問司ニ附シテ

處置セシムベシ

大坂鎮臺ニ在テハ大佐或中佐一人

少佐一人大尉二人中尉一人少尉一

人曹長一人ノ軍法會議ヲ設ケ常任

トナシ六箇月毎ニ交換セシメ糾問

常任ト云ハ掛
切別ニ局トナ
スニ非スハ其會
大テラ彼ノ隊此
隊ノ内ニテ極メテ
オキ罪犯アル時ハ
警ハハ二七トカ四
九トカノ十時アラ
十二時マテニカ
極メテ會議ヲ

ナスナリ先モ
 事ナケレハ出タ
 計リニテ追ハレテ
 ヲレ只其會議
 場乳問場ハ極
 トラオキラ令史
 ハ其処ニ日ノ語
 居ルベシ

司ノ令史二人ヲ附シ刑法ヲ司ラシ
 ム
 東北鎮西ハ現今兵寡キヲ以テ下士
 卒夫ノ死刑ニ於テ東北ハ東京ニ鎮
 西ハ大坂ニ移シ施行セシメ其異状
 ヲ兵部省ニ移スハ各本臺ヨリ直ニ
 之ヲ行フベシ
 又大中少尉ノ犯罪軍律ニ當ル者ア

ル時ハ其司令長官大隊ニテハ少佐
聯隊ニテハ大佐

停住ヲ命シ分營ヨリハ本營ニ送附

シ鞠問ノ上兵部卿ノ親裁ヲ取り奪

官以下ノ刑ハ本營ニ於テ之ヲ行フ

ヲ許ス

但シ鎮西東北ハ猶大坂東京ニ送附

スルヲ要ス

奏任以上罪犯ハ海陸軍刑律第三十

條ニ準シ事由ヲ奏シ 上裁ヲ取ル
ヲ要ス但シ停住ハ鎮臺ノ帥或ハ鎮
臺ノ司令長官之ヲ命スルヲ許シ鞠
問ハ東京ニ送附シ 亂問司ニ於テス
ベシ

本分營ノ外令史ヲ置カガルノ地ニ
在テハ軍法ノ罪犯ヲ處断スルヲ許
サズ皆所轄ノ本分營ニ送附スベシ

凡ソ亂問司ノ令史其所属ノ司令長官ヨリ
ノ示告ヲ受ケ直チニ其罪犯ノ所ニ至リ
其動靜ヲ察シ同伍若シクハ同僚ヲシテ
監視セシメ停住ヲ受ルテ安定ナラシム
ルヲ要ス

若シ其犯頗ル重大ニシテ脱走自盡等ノ恐
レアル者ハ状ヲ盡シテ司令長官ニ申告
シ或ハ監倉ニ銅シ或ハ監護ノ兵ヲ置テ

之ヲ守ラシムベシ

其會議ニ附スルハ期日ニ於テス期ニ及テ
席ヲ設ケ派定ノ將校之ニ列シ犯人ヲ其
前ニ引カシメ令史筆硯ヲ取テ傍ニ坐
シ以テ鞠問ヲ始ム

但書記頗ル手ヲ要スル時ハ將校下士
ノ内下坐ノ者ヨリ皆其事ニ服スベシ
凡ソ推鞠ノ法議長首トシテ鞠問ニ任シ勉

メテ諸證ニ據リ辨詰ニ謾リニ暴酷掠治
スルヲ許サス令史ハ傍ニ在リ犯人ヲ諭
シ其ヲシテ表白抵保セシムベシ

凡ソ令史ノ任罪犯ノ口語ヲ記上レ遺漏ナ
カラシメ問ニ解論說導シ勉メテ罪犯ヲ
シテ其辭ヲ盡サシメ惴怕誣服ノ患ナカ
ラシムベシ

其罪犯據證確的ニシテ猶首伏セサル者始

メテ
テ
テ
掠窮治スルヲ許ス

糸
問
言